

今宿コミュニティガーデン友の会（いまコミ）

三世代交流をしながら

地域の庭づくりを楽しもう



会員は子どもから85歳のお年寄りまで。合言葉は「みんなが主役、みんながリーダー」。手づくりの看板をバックに

横 浜市有地約600平米を借り受け、「三世代交流ができるまちづくり」を目指して活動を始めたのは2年前。荒れ地を造成・整備し、そばの種を蒔いた。半年後にはそばを刈り、そばを打って食べた。色とりどりに咲く花は押し花アートに。ハーブティーはイベントの顔、香りのいいラベンダーは匂い袋に。夏にはひまわりが背を伸ばし、朝顔はフェンスいっぱいに広がった。昨夏、待望の芝生ひろばが完成し、秋まつりや収穫祭も開催。焼き芋や芋煮鍋を地域の皆さんと楽しんだ。そして今、満開の菜の花は道行く人の目を楽しませている。

スタート時5人だったメンバーは、今や一般会員49人、賛助会員11社に。日頃の作業やイベントに参加して「面白そう」と入った人も多い。年間計画はもとより、作物の種類から堆肥づくりまで、多くの意見を聞きながら会は運営されている。

大工仕事や設計が得意な人、手芸や料理が得意な人、カメラやパソコンの達人などメンバーは多種多彩。園芸や土木の専門家がいないというのは驚きだ。それぞれに情報収集をし、知恵を出し合い、時には地元の造園業者に応援を頼みつつ、こまめで行ってきた。何もない所から始まった活動。皆の思いと行動で一つひとつ形になっていく楽しさが、やりがいとなっている。

「常時開放し、人々が自由に集える憩い（癒し）の場を完成図とするが、蒔いた種が芽を出すか、花が咲くかと一喜一憂する醍醐味、あまだこうだと意見を交換しながら前進する創造過程の『今』がまた楽しくてたまらない」と代表の木村さん（70歳）。



和気あいあいとした役員会議。左から代表の木村さん、片田さん、村松さん、三浦さん



上段左から「ハーブガーデンに石灰肥料を蒔く。周囲には菜の花が」「満開のそばの花」「そばの種を蒔く」
下段左から「いまコミ秋まつりでは輪投げも」「そば打ち&試食会」「里芋、さつま芋、インパチェンスの花」

今宿コミュニティガーデン友の会（いまコミ）

発足／2005年

会員数／49人

代表／木村吉夫

連絡先／045-955-1882

<http://cc-pr.net/imacom>

活動日／第1・第3火曜日と第2・第4土曜日

いずれも14:00～16:00

活動拠点／横浜市旭区今宿2-20（現地）他
今宿地域ケアプラザ、今宿地区センター

年会費／一般会員1000円、賛助会員1万円

会員／花が好き、ハーブや野菜・果樹を育てたい、日曜大工が得意、イベント好き、話好きな人…。旭区外の人も歓迎

★会員募集中。年齢不問。入退会自由